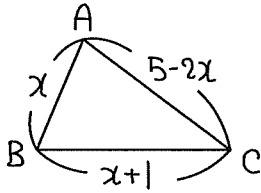


I

$$AB = x \text{ とおくと,}$$

$$BC = AB + 1 = \boxed{x+1}^{\uparrow}$$

$$CA = 6 - (AB + BC) = \boxed{5-2x}^{\uparrow}$$



三角形が成立する条件より,

$$|(x+1) - x| < 5-2x < (x+1) + x$$

すなわち

$$1 < 5-2x < 2x+1.$$

これを解いて,

$$\boxed{1}^{\uparrow} < x < \boxed{2}^{\uparrow}.$$

余弦定理より,

$$\cos B = \frac{AB^2 + BC^2 - CA^2}{2AB \cdot BC}$$

よって,

$$AB \cdot BC \cos B = \frac{AB^2 + BC^2 - CA^2}{2}$$

$$= \frac{x^2 + (x+1)^2 - (5-2x)^2}{2}$$

$$= \frac{-2x^2 + 22x - 24}{2}$$

$$= \boxed{-x^2 + 11x - 12}^{\uparrow}$$

$$AB^2 \cdot BC^2 \sin^2 B = AB^2 \cdot BC^2 (1 - \cos^2 B)$$

$$= x^2(x+1)^2 - (-x^2 + 11x - 12)^2$$

$$= 24(x^3 - 6x^2 + 11x - 6)$$

$$= \boxed{24(x-1)(x-2)(x-3)}^{\uparrow}$$

△ABCの面積は,

$$\frac{1}{2} AB \cdot BC \sin B = \frac{1}{2} \sqrt{AB^2 \cdot BC^2 \sin^2 B}$$

$$= \frac{1}{2} \sqrt{24(x-1)(x-2)(x-3)}$$

$$= \boxed{\sqrt{6(x-1)(x-2)(x-3)}}^{\uparrow}$$

$$f(x) = (x-1)(x-2)(x-3) = (x^3 - 6x^2 + 11x - 6)$$

とおくと,

$$f'(x) = 3x^2 - 12x + 11$$

$$= 3\left(x - \frac{6-\sqrt{3}}{3}\right)\left(x - \frac{6+\sqrt{3}}{3}\right)$$

$1 < x < 2$  における  $f(x)$  の増減は次のようになる。

$x$	$(1) \dots$	$\frac{6-\sqrt{3}}{3}$	$\dots (2)$
$f'(x)$	+	0	-
$f(x)$	↗	極大	↘

よって,  $1 < x < 2$  において,

$$f(x) \text{ は } x = \frac{6-\sqrt{3}}{3} \text{ のとき 最大値をとる.}$$

△ABCの面積が最大となるのは  $f(x)$  が最大となるとき, すなわち  $x = \frac{6-\sqrt{3}}{3}$  のときであり,

求める最大値は,

$$\sqrt{6 f\left(\frac{6-\sqrt{3}}{3}\right)} = \sqrt{6 \cdot \frac{3-\sqrt{3}}{3} \cdot \left(-\frac{\sqrt{3}}{3}\right) \cdot \frac{-3-\sqrt{3}}{3}}$$

$$= \sqrt{\frac{6 \cdot 6\sqrt{3}}{27}}$$

$$= \boxed{2 \cdot 3^{-\frac{1}{4}}}^{\uparrow}$$

II

[1]  $f(x) = e^x - x - 20$  について,

$$f'(x) = e^x - 1.$$

$f(x)$  の増減は以下のようになり,

$$x = \boxed{0}_r \text{ のとき最小値 } f(0) = \boxed{-19}_s.$$

$x$	...	0	...
$f'(x)$	-	0	+
$f(x)$	↘	最小	↗

ここで,

$$f(-20) = e^{-20} > 0,$$

$$f(-19) = e^{-19} - 1 = e^{-19} - e^0 < 0.$$

また,  $e > 2$  に注意すると,

$$f(5) = e^5 - 25 = 2^5 - 25 = 7 > 0.$$

ゆえに方程式  $f(x) = 0$  の実数解の個数は  $\boxed{2}_r$  個.

$f(x) = 0$  を満たす  $x$  で最大のものを  $p$ , 最小のものを  $r$  とすると,

$$f(x) < 0 \Leftrightarrow r < x < p. \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

これまでの議論から,  $0 < p < 5$  および

$$-20 < r < -19. \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

ゆえに  $f(x) < 0$  を満たす整数  $x$  の中で最小のものは  $\boxed{-19}_x$  である.

[2]  $2.718 < e < 2.719$  であるので,

$$\frac{27.18}{10} < e < \frac{27.19}{10},$$

$$\frac{10.872}{4} < e < \frac{10.876}{4}.$$

$\frac{n}{10} < e < \frac{n+1}{10}$  を満たす自然数  $n$  は,  $n = \boxed{27}_a$ ,

$\frac{n}{4} < e < \frac{n+1}{4}$  を満たす自然数  $n$  は,  $n = \boxed{10}_b$ .

[3]  $g(x) = a^x - x - 20$  について,

$$g'(x) = \log a \cdot a^x - 1.$$

$a > 1$  であることに注意. このとき  $\log a > 0$ .

方程式  $g'(x) = 0$  を解くと,

$$\log a \cdot a^x = 1.$$

$$\log(\log a) + x \log a = 0.$$

$$x = -\frac{\log(\log a)}{\log a}.$$

$b = -\frac{\log(\log a)}{\log a}$  とすると,  $g(x)$  の増減は以下

のようになり,

$$x = b = \boxed{-\frac{\log(\log a)}{\log a}}_*$$

のとき最小値をとる.

$x$	...	$b$	...
$g'(x)$	-	0	+
$g(x)$	↘	最小	↗

$g(x) = 0$  を満たす  $x$  で最大のものを  $q$  とするとき,

$q < p$  が成り立つ必要十分条件は,  $g(0) = -19 < 0$

に注意して,

$$g(p) > 0 \text{ ゆえに } a^p > p + 20.$$

$f(p) = 0$  であるから,

$$e^p - p - 20 = 0.$$

$$e^p = p + 20.$$

ゆえに  $a^p > e^p$  となり,  $\boxed{a > e}_r$ .

[4] [2] より  $\frac{5}{2} < e < \frac{11}{4}$  となるから,

$$f(4) = e^4 - 24$$

$$> \left(\frac{5}{2}\right)^4 - 24$$

$$= \frac{625 - 384}{16}$$

$$> 0,$$

$$f(3) = e^3 - 23$$

$$< \left(\frac{11}{4}\right)^3 - 23$$

$$= \frac{1331 - 1472}{64}$$

$$< 0.$$

$f(x)$  の増減と合わせて,

$$3 < p < 4. \quad \dots\dots \textcircled{5}$$

①および②, ⑤より,  $f(x) < 0$  を満たす整数は

$$-19, -18, \dots, -1, 0, 1, 2, 3$$

であり,  $\boxed{23}_r$  個存在する.

Ⅲ

$$a_n + \sqrt{5}b_n = (2 + \sqrt{5})^n. \quad \dots\dots ①$$

[1]  $2 + \sqrt{5} = a_1 + \sqrt{5}b_1$

および  $a_1, b_1$  は有理数であるので、

$$a_1 = \boxed{2}, b_1 = \boxed{1}.$$

また、

$$\begin{aligned} a_{n+1} + \sqrt{5}b_{n+1} &= (2 + \sqrt{5})^{n+1} \\ &= (2 + \sqrt{5})^n \cdot (2 + \sqrt{5}) \\ &= (a_n + \sqrt{5}b_n)(2 + \sqrt{5}) \\ &= (2a_n + 5b_n) + \sqrt{5}(a_n + 2b_n). \end{aligned}$$

$a_{n+1}, b_{n+1}$  および  $2a_n + 5b_n, a_n + 2b_n$  は有理数であるので、

$$a_{n+1} = \boxed{2} a_n + \boxed{5} b_n,$$

$$b_{n+1} = a_n + \boxed{2} b_n.$$

[2]  $c_n = (2 + \sqrt{5})^n$  であるので、

$$\begin{aligned} c_{n+1} &= (2 + \sqrt{5})^{n+1} \\ &= (2 + \sqrt{5}) \cdot (2 + \sqrt{5})^n \\ &= \boxed{(2 + \sqrt{5})} c_n. \end{aligned}$$

[1] より、

$$\begin{aligned} d_{n+1} &= a_{n+1} - \sqrt{5}b_{n+1} \\ &= (2a_n + 5b_n) - \sqrt{5}(a_n + 2b_n) \\ &= (2 - \sqrt{5})a_n - \sqrt{5}(2 - \sqrt{5})b_n \\ &= (2 - \sqrt{5})(a_n - \sqrt{5}b_n) \\ &= \boxed{(2 - \sqrt{5})} d_n. \end{aligned}$$

ゆえに  $e_n = c_n d_n$  について、

$$\begin{aligned} e_1 &= c_1 d_1 \\ &= (a_1 + \sqrt{5}b_1)(a_1 - \sqrt{5}b_1) \\ &= a_1^2 - 5b_1^2 \\ &= 2^2 - 5 \cdot 1^2 \\ &= -1 \end{aligned}$$

および、

$$\begin{aligned} e_{n+1} &= c_{n+1} d_{n+1} \\ &= (2 + \sqrt{5})c_n \cdot (2 - \sqrt{5})d_n \\ &= (2 + \sqrt{5})(2 - \sqrt{5}) \cdot c_n d_n \\ &= -e_n. \end{aligned}$$

ゆえに数列  $\{e_n\}$  は初項  $-1$ 、公比  $-1$  の等比数列であるので、

$$e_n = (-1) \cdot (-1)^{n-1} = (-1)^n.$$

$$c_n d_n = \boxed{(-1)^n}.$$

したがって、

$$(2 + \sqrt{5})^n \cdot d_n = (-1)^n.$$

$$d_n = \left( \frac{-1}{2 + \sqrt{5}} \right)^n = (2 - \sqrt{5})^n.$$

ゆえに、

$$a_n - \sqrt{5}b_n = (2 - \sqrt{5})^n. \quad \dots\dots ②$$

(①+②) ÷ 2 より、

$$a_n = \frac{(2 + \sqrt{5})^n + (2 - \sqrt{5})^n}{2}.$$

(①-②) ÷  $2\sqrt{5}$  より、

$$b_n = \frac{\boxed{(2 + \sqrt{5})}^n - \boxed{(2 - \sqrt{5})}^n}{2\sqrt{5}}.$$

[3] ②より、

$$\begin{aligned} s_n &= \sum_{k=1}^n a_k - \sqrt{5} \sum_{k=1}^n b_k \\ &= \sum_{k=1}^n (a_k - \sqrt{5}b_k) \\ &= \sum_{k=1}^n (2 - \sqrt{5})^k. \end{aligned}$$

$\lim_{n \rightarrow \infty} s_n$  は初項  $2 - \sqrt{5}$ 、公比  $2 - \sqrt{5}$  の無限等比級数である。  $2 < \sqrt{5} < 3$  より、  $-1 < 2 - \sqrt{5} < 0$ 。

ゆえに  $\lim_{n \rightarrow \infty} s_n$  は収束し、

$$\begin{aligned} \lim_{n \rightarrow \infty} s_n &= \frac{2 - \sqrt{5}}{1 - (2 - \sqrt{5})} \\ &= \boxed{-\frac{3}{4}} + \boxed{\frac{1}{4}} \sqrt{5}. \end{aligned}$$

IV

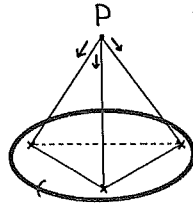
[1]

ある1つの頂点と隣接する頂点は  $\boxed{3}$  個あり、  
動点はこれらの頂点に確率  $\frac{1}{3}$  で移動する。  
3回移動した後に出発した頂点にあるのは、  
出発した頂点を P とするとき、

- 1回目はP以外の頂点に移動し(確率は  $\frac{2}{3}$ )、
- 2回目はP以外の頂点に移動し(確率は  $\frac{2}{3}$ )、
- 3回目はPに移動する(確率は  $\frac{1}{3}$ )、

場合があるから、その確率は、

$$1 \cdot \frac{2}{3} \cdot \frac{1}{3} = \boxed{\frac{2}{9}}$$



1回の移動において、

PからPに移動する確率は0、  
P以外の頂点からPに移動する  
確率は  $\frac{1}{3}$  であるから、

動点が  $n$  回移動した後にPにある事象を  $A_n$   
とするとき、

$$P(A_n) = \boxed{0}, \quad P(\overline{A_n}) = \boxed{\frac{1}{3}} \quad (n \geq 1)$$

$n \geq 1$  のとき動点が  $n$  回移動した後にPにあるのは、

$n-1$  回目にP以外の頂点にあり、 $n$  回目に  
確率  $\frac{1}{3}$  でPに移動する

場合があるから、 $P(\overline{A_n}) = 1 - P(A_n)$  に注意して、

$$\begin{aligned} P(A_n) &= P(\overline{A_{n-1}}) \cdot P_{\overline{A_{n-1}}}(A_n) \\ &= \frac{1}{3} P(\overline{A_{n-1}}) \\ &= \frac{1}{3} (1 - P(A_{n-1})) \quad (n \geq 1) \end{aligned}$$

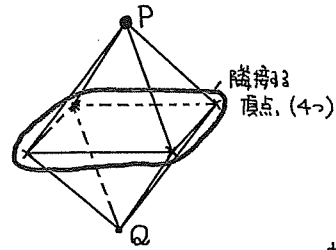
よって、

$$\begin{aligned} P(A_n) - \frac{1}{4} &= -\frac{1}{3} (P(A_{n-1}) - \frac{1}{4}) \quad (n \geq 1) \\ P(A_n) - \frac{1}{4} &= (-\frac{1}{3})^n (P(A_0) - \frac{1}{4}) \\ &= (-\frac{1}{3})^n \cdot \frac{3}{4} \quad (P(A_0) = 1 \text{ より}) \quad (n \geq 0) \end{aligned}$$

よって、

$$P(A_n) = \boxed{\frac{3}{4} \cdot (-\frac{1}{3})^n + \frac{1}{4}}$$

[2]



ある1つの頂点と隣接する頂点は  $\boxed{4}$  個あり、  
動点はこれらの頂点に確率  $\frac{1}{4}$  で移動する。  
動点が出発した頂点を P、P と隣接しない頂点を  
Q とする。1回の移動において、

P と隣接する頂点から P または Q に移動する確率は  $\frac{2}{4} = \frac{1}{2}$ 、  
「P または Q」から「P または Q」に移動する確率は 0  
であるから、

$$P_{B_{n-1}}(\overline{B_n}) = \boxed{\frac{1}{2}}, \quad P_{\overline{B_{n-1}}}(\overline{B_n}) = 0 \quad (n \geq 1)$$

$n \geq 1$  のとき、動点が  $n$  回移動した後に「P または Q」に  
あるのは、

$n-1$  回目に P と隣接する頂点にあり、 $n$  回目に  
確率  $\frac{1}{2}$  で「P または Q」に移動する

場合があるから、

$$\begin{aligned} P(\overline{B_n}) &= P_{(B_{n-1})}(\overline{B_n}) \cdot P_{\overline{B_{n-1}}}(\overline{B_n}) \\ &= \frac{1}{2} P(B_{n-1}) \\ &= \frac{1}{2} (1 - P(\overline{B_{n-1}})) \quad (P(B_{n-1}) = 1 - P(\overline{B_{n-1}}) \text{ より}) \quad (n \geq 1) \end{aligned}$$

よって、

$$\begin{aligned} P(\overline{B_n}) - \frac{1}{3} &= -\frac{1}{2} (P(\overline{B_{n-1}}) - \frac{1}{3}) \quad (n \geq 1) \\ P(\overline{B_n}) - \frac{1}{3} &= (-\frac{1}{2})^n (P(\overline{B_0}) - \frac{1}{3}) \\ &= \frac{2}{3} \cdot (-\frac{1}{2})^n \quad (P(\overline{B_0}) = 1 - P(B_0) = 1 - 0 = 1 \text{ より}) \quad (n \geq 0) \end{aligned}$$

$$P(\overline{B_n}) = \frac{2}{3} \cdot (-\frac{1}{2})^n + \frac{1}{3} \quad (n \geq 0)$$

よって、

$$\begin{aligned} P(B_n) &= 1 - P(\overline{B_n}) \\ &= \frac{2}{3} \{1 - (-\frac{1}{2})^n\} \quad (n \geq 0) \end{aligned}$$

P と隣接する頂点から P に移動する確率は  $\frac{1}{4}$   
であるから、 $n$  回移動した後に P にある確率は、

$n \geq 1$  のとき、

$$P(B_{n-1}) \cdot \frac{1}{4} = \frac{1}{6} \{1 - (-\frac{1}{2})^{n-1}\}$$

よって、求める確率は、

$$\begin{cases} 1 & (n=0 \text{ のとき}) \\ \frac{1}{6} \{1 - (-\frac{1}{2})^{n-1}\} & (n \geq 1 \text{ のとき}) \end{cases}$$